

北辰会報

第23号

発行者 大阪府立北野高等学校
 定時制課程同窓会北辰会
 会 長 岡 田 多 間
 編集者 事務局長 前 田 直 人
 事務局 〒666-0262
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97
 TEL・FAX 072-766-4170
 kitanokoukou-hokusinkai@gaia.eonet.ne.jp
 印 刷 タブレット
 TEL 06-6676-2520 FAX 06-6676-2519
 DTP 株式会社グラフィカ
 デザイン TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211

この1年北辰会 順風な歩み ～来年の総会、懇親会を元気に迎えよう～

北辰会会長 ^{おかだ たもん} 岡田 多間 (18期)



会長に就任して1年を順調に過ごせたと皆様に感謝申し上げます。

昨年からイギリスのEEC離脱の決定、アメリカのトランプ大統領の誕生、相も変らぬ中東の戦争と世界平和、経済、地球環境等々に大きな影響を与えることが起きています。

わが北辰会では、順調に活動出来ています。会議、北辰会報、「北辰会HP」、同期会などで、諸先輩方の誇れるエネルギーは熱い北辰会への思いと共に、自分たちが過ごした多感で厳しかった青春時代を暖かく、誇らしく思い元気に自分に、家族に、仲間に、地域に貢献されている姿を知ることが出来ました。私が元気を頂いています。感謝申し上げます。

2016年の北辰会賛助金運動では目標を上回る事が出来ました。私の会長就任1年目の大きな責任を果たせた事を嬉しく思っています。これは長年にわたる北辰会活動が皆様の血と肉と心に成っていることと思います。指導部と皆様が固く結びついている現れだと思います。

近年、事務局では1期生の先輩諸氏を先頭に300名を越える先輩に声の便りを届け、双方に喜び、元気の出たとの喜ばしい報告が届いています。これぞ北辰会と思っています。また、「北辰会HP」では毎月1500～2000人の方からアクセスがあり、掲載記事も2016年は46本あり2015年を10本越え、「北辰会HP」も生き生きと活動していると感じています。

私達役員より若い母校の校長、教頭先生と親しく懇談させて頂き、元気に頑張っている姿に感心し元気も頂いています。

来年は北辰会総会、懇親会の年です。北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～も発行されます。体調を整えて元気にご参加して下さい。お待ちしております。

北辰会では奇抜な行事は有りませんが皆様も同期会なり、周りでの活動で元気な姿を維持して下さい。今年も共に澁刺と生活したいと思います。

来年は北辰会総会、懇親会の年です。北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～も発行されます。体調を整えて元気にご参加して下さい。お待ちしております。

北辰会では奇抜な行事は有りませんが皆様も同期会なり、周りでの活動で元気な姿を維持して下さい。今年も共に澁刺と生活したいと思います。

来年(2018年)の北辰会総会予定

【日 時】 2018年5月20日(日)
【場 所】 総会(午前) 北野高校多目的ホール
【懇親会】 (午後) ホテルプラザオーサカ

目 次

会長からの挨拶	1
教頭先生からの挨拶	2
教頭先生を表敬訪問	3
この人あり	4
皆様からのたより	11
同期会、同好会だより	17
事務局からの報告	23
北辰会総会・賛助金運動のお礼	29
賛助金のご芳名	30

ご 挨拶

～北辰会に元気をいただいています～

北野高等学校 教頭 もりた 森田 りえこ 里江子

北辰会会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。全日制の教頭の森田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年4月に赴任して以来、校内の北辰記念室や記念碑に込められた定時制の同窓生の方々の思いの深さを私なりに感じております。と言いますのも、前任校の府立寝屋川高等学校にも定時制が併設されており、勤務していた11年間はとても身近な存在でした。夕方になると定時制課程の生徒たちが三々五々登校し、夜9時になっても教室は明々とし、学校は息づいていました。様々な事情を抱えながらも無事に巣立っていく卒業式での生徒たちの様子は、大変感動的だとのことでした。

また、先輩方が記された「はるけき流れ」を拝読し、大変感銘を受けました。苦学力行の末、社会で大いに活躍され、現役を退いた後もなお、チャレンジ精神旺盛に生き生きと過ごしておられる様子には、本当に元気をいただきます。この一年、何度か北辰会の役員の皆さまにお会いする機会に恵まれましたが、いつも朗らかに前向きに、会の運営にあたっておられ、励まされるばかりです。

皆さまの今後のますますのご健康とご活躍を祈念いたしますとともに、どうぞいついつまでも「学びの原点」を発信していただきますようお願い申し上げます。



教頭先生と北辰会拡大幹事会。前列左より2人目、森田教頭先生と3人目、岡田会長

北野高校新教頭、森田里江子先生を 表敬訪問して

北辰会事務局 まえだ 前田 なおと 直人

2016年4月26日、12時から12時30分まで母校応接室にて北辰会事務局2役、前田、小河原、兼田の3人で表敬訪問致しました。

先生には新学期、新任という職務にお忙しい中、大事な時間を取って頂き感謝しています。

お互いの自己紹介のあと、私から北辰会の実情報告を行い、北辰会文集、北辰Ⅲ「夕べの星」、北



右から2人目、森田教頭先生と事務局2役

辰Ⅳ「はるけき流れ」、そして、北辰会報22号を謹呈させて頂きました。定時制同窓会の会報発行の驚きと文集は綺麗な表紙ですね。との感想を頂きました。

先生は枚方でお育ちになり、前任校は大阪府立寝屋川高校で教頭を務めておられました。

先生の前任校には定時制課程があり「毎年百数十名の新生を迎えていたので、定時制には親近感を持っており、寝屋高定時制の生徒や卒業生にも多くの事を学んだ。今回北辰会報22号を読ませて頂き、北野定時制同窓会、北辰会の活動を頼もしく思っている」と言って頂きました。

北辰会報22号の校長先生の挨拶にあった校歌「夕べの星」を知りたいし聞きたいと言われました。

前任の寺尾教頭先生は、体格のどっしりとしたベテラン男性教師と言った雰囲気の人でした。森田教頭先生の第一印象は私達70歳近辺の者に比べると非常に若く、理知的な女性でした。

授業開始のベルと共に今後のお互いの健闘を願い和やかな表敬訪問は終わりました。

そして、皆、若い校長先生、教頭先生、事務長さん、事務職員さんとフレッシュで元気な北野高校でした。

この人あり

なおしま まさゆき
直嶋 正行さん(26期)が
きよくじつだいじゆしやう
「旭日大綬章」を受章
されました(2016秋)

これは国や公共に大きな功績があった方に授与されるものです。

直嶋さんは4期の参議院議員、経済産業大臣での功績が評価されました。

北辰会にも総会、賛助金、寄稿文などで気に掛けて頂いております。

北辰会としまでも直嶋さんの受章の栄誉をお伝えしたいと思います。(事務局)



直嶋正行さん



旭日大綬章 (Wikipediaより)

思い廻るままに

たつとみ おさむ
達富 脩 (11期)

夕べの星のまたたきを
 理想の影と仰ぎつつ 人
 は家路に向うとき 勇みて
 集う文の窓 われら…北辰
 …健…男…児、

私がこの原稿を書こうと
 して筆を執ったとき、なぜ



か無意識の裡にこの校歌を口ずさんでいました。卒業して以来やがて64年経って一度も歌うことがなかったのに歌えるなんて今更ながら歌詞と旋律の持つ記憶を蘇らせる不思議な力に驚嘆しています。これが私の母校への愛着の証でもあるのでしょうか？

私は怠け癖と貧乏の両方で高等尋常小学校しか行かれず昭和20年卒業後は吹田市内の小さな町工場を転々としていましたが、私の姉が勤めている工場に入れてもらったときに、その社長が「脩ちゃん、あんたは勉強しなあかん。夜間の学校でもええから行ったらどうや。北野中学に夜間部があるから受けてみたら、と言われて、その気になり、入学願書を出したその時が少し大袈裟かも知れませんが、私のその後の運命を大きく変える切っ掛けになったと言っても過言ではありません。でなければ北辰会の皆さんとのこのようなご縁も永遠になかったことでしょう。

入学試験を受けたものの半分諦めかけていたところに合格の通知を受け小躍りして喜んだ時のことを今でも思い出します。昭和23年4月晴れて北野第二中学校の第11期生として入学を許され、年令も職業も様々な同級生が沢山いましたが直ぐ友達もでき楽しくなりました。中でも山田君、磯部君、池畑君、寺沢君、小川君等々とは六人組になりました。山田君とは今でも交流が続いています。残念ながら磯部君、池畑君は既に他界し他の2人とも交信がないのを淋しく思います。

最初の担任は口頭試問の試験官でもあられた大野先生でした。英語では、担任の大野先生を始め、小川先生、第6期生の河原先生、堀口先生、小田先生、上田先生、国語では井戸先生、秦先生、同先生には時々朗読を指名してもらいました。小浜先生には「有言実行か不言実行か」のテーマで討論のあり方を教えてもらいました。数学では後藤先生、物理では足立先生、日本歴史の三宅先生、村川先生、同先生は卒業後も11期生の同期会には参加していただきました。東洋史の旗田先生、生物の亀井先生の授業では英語を交えて教えられましたが、私も英語が好きだったので先生の授業が大変気に入

りました。

社会科の三橋先生からは職業として目指すなら「公認会計士、がよいぞと教えてもらいましたが、難しいので諦めました。化学の清原先生、絵画は岡島先生、授業中裸婦の絵を見てヒソヒソとコソ笑をして注意されたことを執念深く記憶しています。音楽の金田先生には音楽を教えてもらいましたが、その時に習った歌を今でも覚えています。また、先生は校歌の最後の北辰健男児のところを歌いやすく変曲されました。私が今も音楽好きになったのも、先生の影響が大きかったからだと思います。このように諸先生方の個々の授業内容についての知識としての記憶はありませんが、人生如何にいくべきか？ということを経験の雰囲気を通していろいろと薫陶を受けたように思います。それが今も私の心の糧としてあるように思います。この点において、師の恩を忘れることはできません。私は教育の重要性もこの点にあることを痛感しております。

高校2年のとき同級の佐野君が伊丹の米軍航空隊基地に勤めていたことからそちらに世話してもらうことになり、昭和33年3月に同基地が日本政府に返還されるまで勤務しました。その間に本場の英会話を職場の米兵から敬語も卑語もいろいろと教えてもらいました。

ここに一つの奇遇がありました。当時阪急線の蛍ヶ池駅から基地までの途中で毎朝一人の若い青年が本を読みながら歩いて来るのを見かけました。それが誰だろう川野眞次郎前北辰会会長であったのであります。川野さんとはESSクラブでご一緒したこともありました。また、ご自宅にESS仲間と一度お邪魔したこともありました。

さて、卒業後は米軍基地の勤めから、東京商工興信所（現東京商工リサーチ）に転職し外国部で企業信用調査の翻訳の仕事をするようになりました。その間同僚の辻野君と福島区大開町で「志学院、という名の英数私塾を共同で始めましたが、副業は認めないという会社の方針により、私塾経営に転換することになりました。

一方、私が吹田から宮崎県の延岡市に移住した事情は私の実父が戦前から宮崎県延岡市で宮

崎ガス会社にお世話になっており、昭和29年定年退職と同時に同社からサービス業務の委託を受けて事業をしておりましたが、父からの懇願で後継することになり昭和36年4月、永年住み慣れた吹田を離れてここ延岡に単身来ることになったからです。以来今日まで64年の経過であります。その間昭和60年から宮崎市内にも店舗開設し宮崎ガス総合サービスセンターという社名で経営しております。現在も週2回特急電車で延岡から宮崎間1時間の通勤です。お陰様で健康には恵まれて殆ど病欠勤せず現役で頑張っております。健康でやるべき仕事のあることは最高の幸せであると思っております。

平成28年9月20日

（宮崎県延岡市在住、宮崎ガスサービスショップ経営）

*事務局より

宮崎県から何時も北辰会へ熱いご支援を頂いている達富さんから事務局に原稿が届きました。

北辰会は不滅なり

思いはめぐるとめどなく
学窓あとに 星霜は六十有余年
友と語り戯れし 夜の学舎ありし日々
今在れる友 また無き友も 懐かしきかな
人生いかに生くべきか 恩師の教えもありがたく

時は早や
われかくて八十六年
杖無しに 健やかにまだ勤めあり
ここは遙か日向の地
ひとり北辰の健児なり
北辰の不滅を念じつつ

Hokushin-Kai Be Eternal

Since my leaving school
About six decades have already passed
One after another memories come to me
Chatting and playing merrily
With classmates in the evening
Some are already gone Some are still alive
How are they doing? I wonder
I never forget my teacher's lessons
For the way of my life

Time flies
I am now eighty five years old
Healthy and not retired yet
A stick is not needed to walk with either
As a Hokushin Boy here in Hyuga
Far and far away from school
Believing "Hokushin-Kai will never die!"
Osamu Tatsutomi
Hokushin Kai 11th

鶯

ホトトギス同人 ^{おおし いさお} 大石 勲 (13期)

六甲の歌にならざる初音かな
 うぐひすを野に放ちたる神々よ
 うぐひすの台詞のやうな一行詩^{いちぎょうし}
 鶯の吉野訛といふことも
 訪ね来る春告鳥の心もて^{はるつけとり}

*事務局

13期生大石勲様から俳句の提供をお願いしました。

大石さん有難うございます。

大石さんは元もと電気通信の専門家でした。今は俳句のホトトギス同人です。

週2回、朝日カルチャー、NHK文化センターで俳句講座の講師をされています。

その他、写真家でもありましたが年齢故、退いておられます。13期アルバム「星のまたたき」編集されました。

このような素晴らしい能力を持ち合わせておられます。年齢、83歳を感じさせない張りのある声など私達後輩は誇りと元気を頂きました。



日展会場にて

したが、あきらめず続けてきて本当によかったと痛感しています。

平成11年3月I社を早期希望退職した折には、「52歳とは若い、もったいないなあ」との声もありましたが「第2の人生を心豊かにしたい！好きなこと・自分にできること・人に喜んでもらえることにチャレンジしたい」と決意してより書道に邁進してきました。

現在、奈良桜井市に住み地元で3ヶ所・大阪で4ヶ所の書道教室をしています。特に桜井市の高齢福祉センターのお婆さん達が高齢にもかかわらず、真面目に書に打ち込んでおられる姿を見ると逆にパワーをいただいています。最高95歳の生徒さんですから…

現在、東京六本木の国立新美術館で開催中です(10月30日~12月6日まで)

また来春2月20日~3月21日 大阪市立美術館(天王寺)で「大阪日展」が開催されます。愚作ですが是非ご鑑賞ください(日展は日本画・洋画・彫刻・美術工芸・書の日本を代表する総

日展(書)に6年連続入選して

^{たけもと はるお} 竹本 治男 (29期)(号大鶴)

10月17日(月)入選通知をいただき飛び上がりました。

平成23年10月、初入選以来6年連続入選…驚きと感激で一杯です。

今回は唐の時代の李燈の詩を風格、気品よく躍動的に書きたいと考え、力強く流動美豊かに表現しました。

思えば、住友電工の養成工を卒業しながら退職。「自分は何を本気でやりたいのか、情熱をかけてやりたいことは何なのか…」3畳一間でさまよい続けた4年間の北野高校。よき学友に恵まれその中でつかんだ書道。

夢にみたこの日展には落選・落選の何十年で



前列右端、竹本さん

合展です)

恩師の青木三郎先生からいつも激励のおハガキをいただいています。「天馬空を行く字を…」と書いていただき目標にしています。

人との出会い・ふれあい・思いやり…を感謝しながら初志を貫き「北辰魂」をもって精進したいと思っています。



制作中の竹本さん

同行二人：北辰会と私 ～最高の友人～

やまだ しんや
山田 信也 (旧教員)

はじめに

私が北野高校定時制の教員になったのは1964(昭和39)年4月でした。全日制におられた恩師が定時制に英語科の教員に欠員ができたので来ないか、と勧められて定時制に来ました。しかし、再び他校から呼ばれて、わずか9年半後の1973(昭和47)年7月に退職、転勤しました。今振り返れば、北野高校定時制の良いところ取りの食い逃げでした。

毎日が初体験と驚きの楽しい勤務

私が北野高校定時制に勤務すると同時に担任したクラスは27期の男子35名、女子17名計52名でした。昼間に働いて夜には定時制高校に通ってまで勉強する若者がこんなに多いことに驚きました。誰もが学びたい時に学べる良き時代でした。

私の担任クラスの中には26歳の私より年上の

生徒も数人おられました。皆さん昼間の勤務疲れと闘いながら勉学に励み、放課後はクラブ活動にも参加されました。私もソフトボール部の顧問をしていて、夜道を十三駅までおしゃべりしながら生徒たちと一緒に帰るのが喜びでしたし、夏には生徒の実家がある淡路島で合宿し、伝馬船の操り方を習いました。担任クラスの春と秋の遠足も生徒以上に楽しみでした。しかし、日曜日でも仕事があって、楽しみにしていた遠足に参加できない生徒が多くいることが大変残念でした。担任クラスの卒業旅行では那智勝浦の宿で朝方までセブンブリッジをして、初心者の私も強者どもに勝てるほどに上達しました。

私の驚きは職員室前にバケツ一つ置いた喫煙場でした。そこは給食時に多くの生徒が集まる場所でしたが、よく見れば学年もクラスも超えた生徒間のコミュニケーションの場でもありました。給食のパンは生徒の空腹感を少しは和らげたようですし、独身の私にも夜食の足しになるうれしいボーナスでした。毎日が初体験の連続で驚きと楽しみの勤務でした。

多くの卒業生と交流

卒業生も手紙やメールなどで自分たちの活動や行事、相談や食事会などを私に連絡してくれましたので、卒業生にいろいろな形でお会いする機会は毎年多くありました。しかし、真面目で多忙な仕事人間たちが公式のクラス会や同期会を計画し開催ことは時間的に容易ではありません。26期の卒業時担任したクラスの場合、第1回クラス会を開いたのは卒業後20年目の1987年です。第1回同期会を開いたのは更に12年経過した1999年です。このような時間的空白は人間関係をも空白化する傾向があります。しかし、北辰会を暖かい絆で結び、家族的雰囲気でも包み込んでいるのは、全国の卒業生たちが自発的に作り出したグループや同好会などの活動です。

同好会への参加

同好会は仕事や健康上のため参加者は必ずしも多くはありませんが、卒業クラスや年齢に関係

なく、いわばバリアフリーの世界だからこそ、いろいろな活動が長続きして、北辰会を底辺から支えてきました。

北辰ファミリーでは行事に参加する人は毎回多少変わりますが、2002年から2016年までにハイキングや旅行、映画勉強会などを32回持ちました。海外旅行はサンキュッパ（3万9800円）を合言葉に中国、韓国、台湾、香港など6回行きました。参加者の7割は女性で、その中には「夫が山田先生も一緒なら参加してもよいと言っていますから」とかナントカ言って、私を強引に？参加させてくれました。よろよろの私がガードマン、案内人、通訳として少しでも役に立ったでしょうか。お山では富士山登頂、雨中での大山登頂、近辺の山々では比良山、大文字、生駒、六甲など8山を征服しました。

途上人K I T A N Oでは2010年以後、春と秋は金剛山の植物観察、冬は樹氷鑑賞で7回、山頂での持ち寄り昼食会と下山後の王将での真剣



金剛山での山田先生(右端)と北辰会会員

な？反省会が恒例です。乗鞍登頂、剣山、忘年会などもありました。北辰会は活動に一度参加すると友達ができリピータになり、次回につながっています。

定年退職後、出身地に戻る卒業生も多数おられます。九州博多に帰った卒業生から「一度遊びに来て下さい」とのお言葉に甘えて6名で訪ねました。彼は鉄道記念碑がある公園に案内して、「ここに昔の博多駅があって、ぼくらは45年前みんなに見送られて、ここから集団就職で大阪に行きました」と感慨深げに話してくれましたが、私は彼ら若者の労働力が、すなわち定

時制高校が今日の日本の発展と平和を築いたのだと初めて気付きました。

結びに

2003年9月22日の毎日新聞が十三駅前で閉課程反対の署名活動をしている私たちの写真付きで「チラシ約200枚を配り、署名活動をした」と報じました。2009（平成21）年3月、残念ながら北野高校定時制課程を閉じました。これは北辰会にとっても、また国民の権利として学びの機会を求めるすべての人たちにとって大きな悲劇でした。しかし閉課程に負けず、北野高校定時制の卒業生であることを誇りに思う卒業生の一人ひとりの心の奥底に、北辰会はいつまでも生き続けると確信します。

私が北野高校定時制に着任した1964年以来今日までの50数年間、北辰会は私にとって単なる回想録ではなく、共に過ごした生活者であって、妻に次ぐ気心の合った最高の友人として、北辰会と共に同行二人で前進してきました。私に元気をくれた北辰会に深く感謝しています。

ありがとうございました。

2016年9月記

24年間の 参議院議員生活を語る

なおしま まさゆき
直嶋 正行 (26期)

一、国会議員として過ごした四半世紀の時代と、現在の政治情勢について

この四半世紀は、一言で言えば新たな時代に向けたカオス（混乱）の時代だったと思います。米ソ冷戦構造の崩壊後、自由で民主的な市場経済に基づく経済の繁栄が期待されましたが、逆に、世界は「混乱と対立の時代」に入りました。具体的には、新興経済国の中国・インド・南アフリカ・ブラジル等の発展に伴い、世界のパワーバランスが大きく変わってしまいま



事務所での直嶋さん

した。さらに、中東の独裁国家が崩れたことで世界の混乱がさらに加速化。日本を含む先進国では、中間層が没落し、経済格差が拡大しています。

現在起きているアメリカでのトランプ現象やヨーロッパでのネオナチズムの台頭等は、経済の行き詰まりと格差拡大による不満層の増大に端を発していますが、私は、日本でも今同じ現象が起きているのではないかと感じています。すなわち、安倍内閣の支持層は保守層の中でも右翼系の思想を持った人たちが中心であり、今もなお高い支持率を得ているというのは、日本における欧米の現象が安倍内閣の支持という形で表れているのではないかとことです。

安倍総理自身がどこまで思っているかはわかりませんが、例えば、企業に賃上げや設備投資をやれと、法制度を抜きにして口先で介入してくる。このような傾向は、戦前の日本に見られた国家社会主義的な発想に酷似しており、日本社会の健全な発展には決して好ましいことではありません。このまま安倍政権の強権・重商主義的な政治が続けば、日本の社会の結束が保てず、変な世の中になってしまうのではないかと危惧しています。やはり、早く脱安倍イズムの政治を目指す必要があります、これは我々民進党の役割であると思っています。

二、24年の議員生活の中で、特に印象に残っていることについて

一つ目は2009年の政権交代です。当時民主党

の政調会長としてマニフェストをとりまとめ、毎週のようにメディアに出て政策を訴えました。政権交代が実現した時は本当に嬉しかったです。もともと政治家としての目標が、政権交代可能な政治体制をつくることでした。

長期政権は必ず腐敗しますから、政治に緊張感を生むためにも、政治の側から国民に選択肢を提示し、選んでもらう。このことが極めて重要ですが、民主党政権が3年3ヶ月で終わり、政権交代のメリットを国民にしっかりと享受していただけなかったことは残念でした。

二つ目は経済産業大臣として仕事をさせてもらったことです。経済産業省は、自動車を始め産業・貿易・エネルギーと管轄範囲が広く、政治的に大きな影響力を持つとともに、民間との窓口的な役割を担います。

私は民間企業で育ってきたので、そこでの仕事は非常に肌感覚が合いました。グローバル化が進む中、通商国家日本としての国益を守るために、EPA・TPP・RCEPなどを推進していくことが大切と考え、在任中は世界を飛び回りました。しかし、海外との関係は、やはり国益と国益のぶつかり合いなのできれいな事では済みません。よって、タフな交渉が続き多忙を極めました。外国へは1年間に15回出張し、ほとんど夜行便で行き、夜行便で戻ってきました。日曜日の国際会議に出た後、月曜日午前中の予算委員会に出席することも珍しくありませんでした。

三、国会では「働く者・自動車産業の代表」としての主義・主張を買いましたが、そこに込められた思いと、今後の課題について

「働く者・自動車産業の代表」とは私の政治家としての立ち位置です。この国の経済・社会は、人口の半数近くを占めている日々こつこつ働き、納税をする方々がいてこそ成立します。だから、この人たちの生活が安定する、将来が見通せる、先に希望が持てるという状況になれば、日本の社会も自ずと安定するとの思いからです。

しかし、現在は、これまで経済・社会の中核を担ってきたこの層が分裂して格差が開いてい

ます。原因は様々ありますが、特に4割にまで増加した非正規労働者が大きな要因です。

これに対し政治がやるべきことは、最低賃金を上げる、また、私たちは「同一価値労働同一賃金」と言いますが、同じ仕事をしていれば時間あたりの賃金は一緒という基本ルールをつくり、正規と非正規の処遇の差を埋めていく。

さらには、収入面以外の税制や社会保障などについても、所得に応じた負担をしていく仕組みを取り入れるなどして、再び分厚い中間層を復活させることが重要だと考えています。

特に結婚可能な若年層や子育て世代の可処分所得を増やすことは、今後の消費が一番増える層でもあり、国内経済好転の面からも有効です。

また、自動車産業で言えば、これまでもずっと取り組んできましたが、車体課税は減らす、もしくはなくすべきだと考えています。これは、国民の負担を軽減することはもちろんのこと、日本経済の不動の4番バッテリーである自動車産業の裾野の広さからしても、国内産業全体の底上げに寄与するものだと考えています。

四、最後に、働く仲間や次代を担う若い人たちへのメッセージ

皆さんには、政治の仕組み、特に選挙の重要性をよくよくご理解いただきたいと思います。

選挙という民主的手続きで選ばれた人たちが国民生活に直結する様々なルールを決めるわけですが、717名いる国会議員は夫々に支援者が違い、そこには必ず利害が伴います。だからこそ、自分たちの立場や気持ちをわかる人を国会に送り出し、自分たちの代弁者として声を挙げてもらう必要があります。私は、生活者・納税者・消費者・働く者の立場に立って政治が出来るのは、民進党しかないと確信しています。

また、今日の政治の役割は、かつて経済が右肩上がりだった時代の「富の分配」とは違い、社会の維持に必要なコストを「国民にどう負担していただくか」が重要になっています。

当然それには国民との丁寧な合意形成が不可欠です。政治家には、安易にポピュリズムに陥ることなく逃げずに説明することが求められる

一方、皆さんには、「今が良ければいい」という先送り政治のツケは、必ず自分に返ってくることを認識してほしいと思います。

かつての利益誘導型バラマキ一辺倒の政治が、今日の1,000兆円を超える国の借金を生み、子育てや介護など切実に困っている人にお金が回せない世の中を作ったのです。

「政治に無関心でも、無関係ではいられない。」まずは自らの生活のために、政治に向き合い、ぜひ投票に行ってください。24年の経験から、私から皆さんへの願いです。

*事務局より 26期直嶋正行さん（前参議院議員）より北辰会へ24年間の議員生活の思いの詰まった文章が届きました。24年間ご苦労様でした。今後ともお身体に気をつけて活躍下さい。（太字、拡大強調は事務局にて校正致しました。）

定時制と養成工と 高度経済成長

かねだ よしはる
兼田 吉治 (26期)

米焼酎の里“球磨^{くま}郡”は九州の山間部に在る。熊本から八代を抜けて、日本3急流で名高い球磨川沿いに遡ること80km。そこに球磨盆地はある。1000m級の山々に囲まれた盆地は東西30km、南北15km。内陸性気候で昼夜の寒暖差が激しく、秋から春にかけては盆地全体がすっぽりと霧につつまれる“あさぎりの町”であり、日本の米焼酎の代表的生産地でもある。

私は、この盆地の中央部に位置する免田町で1947年に生まれ1962年春の中学卒業まで過ごした。生家は貧しい農家である。このため中学卒業と同時に大手電機メーカーの技能訓練生として就職した。

この会社では1959年から養成工を技能訓練生と制度変更しており、その3期生として1962年4月に入社した。技能訓練生では工業高校に準じた企業内教育を3年間受けて職場配属となる。入社時は高校入試が終わっているため、1年遅れて1963年に北野定時制を受験した。こうして技能

訓練生と定時制との2重生活が始まった。当時は戦後の高度経済成長の真っただ中である。

敗戦でどん底に陥った産業活動が、欧米に対し大幅に差をつけられた技術の遅れをとりもどすため、集中的な技術導入を図り、石油化学、製薬、鉄鋼、電機に至るあらゆる分野においてその技術力を高め、飛躍的な成長を遂げた。この時期の技術導入の特徴は、外国で完成された新技術の大量導入であった。ここに中堅技能者としての養成工教育を受けた人達の生産現場での活躍の場があった。

中学卒を対象とする養成工の多くは優秀な地方出身者で、応募倍率は高校入試以上であり、寮生活をしながら3年間の工業関係社内教育を受ける。学校法人ではないため卒業しても高卒資格が無く、多くは夜間高校に通い一般教養も身につけていた。私の同期26期生においてもクラス男性の3～4割は養成工の人達であった。

完成された欧米の技術はそのまま生産現場に持ち込まれた。英語記述された技術仕様書や特許、インチサイズの図面、これらの作業要領書を解読して、ISO単位に図面化し製品を作り上げる。技術内容を咀嚼して現場に伝え、チームワークで仕事を成し遂げる。自分だけでは克服出来ない課題は養成工の同期や先輩など、同じ釜の飯を食った人的ネットワークを活用して解決を図る。これらは私が体験したほんの一例であるが、養成工を卒業した人達はこのようなして高度経済成長を底辺から支えた。もしも日本に養成工制度が無かったならば、奇跡と呼ばれる戦後の高度経済成長が達成し得たかどうか疑問だと思っている。働く我々も、経済的には苦しい中にも明るい出口が見え、働き甲斐も感じられる時期でもあった。

1993年に世界銀行が「東アジアの奇跡--経済



兼田さん

成長と公共政策」と題した研究報告書を発表している。この中で、日本が経済成長を成し遂げた要因のひとつとして「高い人的資源と人的資本の蓄積」と分析している。これらは正に物づくり現場での養成工制度の成功を意味していると思われる。日本と同様の人的教育を持たなかった他の東アジアの国々では、当時の日本ほどの経済成長を達成し得なかったことも、この事を現していると思う。

しかし、その養成工も1970年頃を境に姿を消す。これは高校進学率と合致している。高度経済成長が始まった1954年の進学率は50.9%であるが、経済成長が終焉する1973年は89.4%であり、1974年以降は90%以上で推移する。そしてこの頃に養成工制度は消滅した。社会の趨勢から仕方のないことだとは思いますが、「工業立国」や「ものづくり日本」を標榜するとき、一抹の不安を覚えるのは私だけだろうか。

1991年のバブル崩壊後日本の経済は停滞し失われた20年と呼ばれた。そして2008年のリーマンショックもあり厳しい経済情勢はその後も続いている。厳しい経済情勢は働く人達の生活をも直撃し、就職難、非正規の増大、格差社会、マイナス金利など、枚挙にいとまがない。一部の経済学者の間では「資本主義経済の崩壊ではないか」とも言われている。

養成工を卒業した我々は孫を持つ世代となり年金生活者となったが、子や孫達の将来に対する不安が増大している。これからは、人生を楽しみつつも、物言う市民、賢い消費者として社会に向き合う必要があると感じている。

皆様からのたより

卒業後あれこれ思い出

はたじ
畑地

ゆたか
豊 (23期)

23期「ポンコツ会」の山本悦郎君と西阪一裕君

私は23期の卒業です。卒業後は出不精であることもあってか同窓会などには稀にしか参加したことが無く、あまり良い卒業生とは言えないかも知れません。

定時制課程が「閉課程」になるということを経験した時「時代の変遷による自然な成り行きのひとつなのであるから仕方の無いこと」と自分流に冷静に捉えていて、あえて「反対」という感慨を有することは有りませんでした。

ただ私たちのクラスだけはとても団結の意志が強く、在学中であったと記憶していますが、会の名前をクラス会で決めたことを覚えています。「ポンコツ会」という名称のもと今日も活発な活動が続いています。

全員の仲間意識の強さの象徴かと理解していますが、もうひとつ「山本悦郎」君の強烈なリーダーシップのお蔭であろうと常々思っていてとても感謝しています。通信費一つを取っていても会費など支払った覚えは無く感謝の念でいっぱいです。

それでもこの会には、可能な限り出席するように努力してきました。そうは申しても私の出席率は極めて低いので偉そうなことを言えたことでは有りません。

去る2015年の夏、その山本君から予期せぬ電話が有り「近いうちに梅田で集まる。西阪一裕君が畑地にも声を掛けてくれ」と言っているとのことでした。

出席無精の私でしたが西阪君が指名してくれたとあっては“ほっとけない”と思い、出席することに即決しました。

西阪君とは浅からぬ縁があったのです。彼とは新聞部で出会い、新聞作りを一から教わりました。卒業後はお互い西宮に住んでいました。

彼の実家の三田市やら新婚の住まいの逆瀬川やら、数回引っ越しをお手伝いしたことが有ります。（こまめに良く移動のあった人でした）私が転勤先の金沢で生活していたころ、彼は勤務先の慰安会で金沢に来る機会が有り、示し合わせて会うこととなり兼六園近くの料亭で「豪華加賀料理」をご馳走になりました。

その後神戸市内でお会いしたきりで、かれこ

れ40年ぶりでしょうが！

梅田の集いには「堂本、中庄谷、倉田、金城、西阪、中家、山本、綿谷/（順不同、敬称略）の紳士淑女」が参集されていました。参集のきっかけは？と聞きましたら2014年北辰会総会の時に「近いうちまた会いたいね！」と誰からともなく提案があったのがきっかけであったと聞きました。予期せぬ突然のお誘いに出席をさせて頂き、楽しいひと時を持たせていただきました。感謝の念で一杯です。

恩師「中野良弘先生」

恩師であり担任であり卒業後もクラス同窓会にはいつも出席をして頂き、時にはお住まいであり尚且つ勤務先の山口大学の近郊にて同窓会を持ち、ご出席を仰いでいた中野良弘先生から、2016年1月早々に年賀状というか「年賀状脱退宣言」なる御挨拶をいただいた。

このことは、私自身も近年、常々時折頭の中を過ぎっていたことである。いつかは止める、卒業する、適当な言葉が見つからないが、いわゆる「年賀状からの離脱、脱退、逃避宣言」なる大きな山場をいつか実行することになるのだろうか！今の私にはまだ予測はつかないが、先生からのご挨拶の言葉が単刀直入で、数学の先生から文学的名言の宣言文を受け取った頃にはいたく感激して、しばらくはうなってしまったことであった。自分もいつかこの日が訪れたらこの名言を使わせてもらおうと思って記録をした。余りにも素晴らしいと感じ入っているので先生には断りなくここで披露させて頂こうと思う。

「近年小生には年賀状発信意欲の衰えひどく年賀慣例の維持が苦痛にすらなってきたのでこれを止めることにしました。まことに手前勝手かつ非礼なことで恐縮ですが当方の高令に免じてご容赦下さい」 これでご縁が切れるわけで



畑地さん

ないので、同窓会にはお顔を出して頂くなど、これまでと何ら変わらないご厚誼をお願いしたいと思っています。

同級生「寺田博君」（元北辰会会計）2014年12月永眠

4年間の学校生活を親しく送った。彼は水泳部に所属していて、学校対抗試合の前日「部員が足りないので助っ人に来てくれへんか！」と頼まれた。自分は熊野川で幼ない頃から「鮎」を追っかけて育ったといっても過言ではないので泳ぎには少々自信がある。

急流を泳ぎ切ることや、何時間でも泳ぐことには、そこそこ自信がある。しかし彼は「競泳」、私の場合は「遊泳」である。360度泳法が違うのである。しかし彼は頭数を揃えなければ競技に参加できなくなるので切羽詰まっている感じであった。そのことも判っていたので友人から依頼された手前断り切れず承諾した。

翌日は茨木市の春日丘高校で競技会に臨んだ。全選手が黒パンツの中で唯一私はといえば派手な“ガラパン”であった。当然ながら当時の競泳選手のパンツは殆どが黒色と相場が決まっていたのである。そのお方たちはその黒色だけで強そうに見えるのです。

結果は推して知るべし報告するに及ばずであるが、遊泳中に、元え競泳中にカルキ臭い水が好むと好まざるに関わらず我が咽喉を通過したのでありました。参加することに意義有り。水泳部の競技会参加は成立したのであるから彼に対する義理は果たせたと思っている。

競泳はともかく、遊泳は今でも夏になると熊野川だけではもの足らず、長良川水系吉田川（郡上八幡）、ある年には熊本の球磨川まで遠征して遊泳漁法で「鮎」を追っかけているのであります。

生徒会選挙では応援演説をしてもらいました。

修学旅行では天保山栈橋から関西汽船の夜行船旅で九州に出発、熊本城では北野から熊本大学に転勤されていた間場先生が慰問に来て下さいました。

帰途は蒸気機関車の鈍行夜行列車でした。列

車は朝方彼の故郷である広島を通過します。駅には彼の親類の方が見えていました。あとで聞いたら今は再婚で他家に嫁がれた実のお母さんであったとのこと。人それぞれ色々な事情がありなのだと、何にも知らずの田舎者の私は頑張っている彼に感銘を受けました。

そういえば大阪で彼の家に泊めてもらったことが有りましたが、彼は彼の祖母と生活されていたのでした。私はといえば父は早くから無くなっていった境遇でしたが、母は健在でした。

彼は早くから司法書士受験を目指してましたね。立命館に進学してからも勉強に明け暮れていました。休みがあると中之島図書館に入り浸り（表現が不適切か！）、夏休みが来ると暑い夏を離れ長野県で避暑勉強留学（優雅ではないか！）

卒業後は大阪府の職員として母校北野で事務。その後茨木市/福井高校などに勤務、私はその頃は既に高槻に住んでいたこともあり訪ねたことも有ります。

その当時彼も高槻に住んでおりました。阪急高槻駅でばったり出会ったこともあります。

十三に「串カツの店/富かつ店」が有り、彼と良く暖簾をくぐりました。楠田訓子さんのお兄さんが経営されていて、その楠田さんが時々手伝っていたので、お会いすることもちょこちょこありました。メニューに陸のコース、海のコースとかが有り、それを注文してビールを飲みました。（おいしかったです）山根康久君が関西方面に来られた時は顔を出されることがあるそうです。

私の結婚式では山根康久君と二人で司会をして頂きました。お陰様で今も当時の嫁とは別れることも籍も変化すること無く一つ屋根の下です。（幸せなのでしょうねえ？）

その後相当の間、私は転勤で金沢で生活することになり、昔の様にお会いする機会も減少してしまいましたが、その間結婚されて2人のお子さんにも恵まれています。

山、自然を愛する人でした。ヨーロッパの山々もこよなく愛し良く遠征されていたそうです。寂しくなっていました。冥福をお祈りします。

多病息災(3) ～どこか似ていて～

さかもと しげお
坂本 成男 (24期)

海の向こうの話と言ってはおられませんねえ、プーチンロシアのサイバー大応援のお陰で当選、そして就任前からツイート大作戦、気に入らないメディアは嘘つきですべてデマ、そして会見からの締め出し、我が娘の商品取り扱いを停止した店を徹底批判、(売れなきゃ商売にならんよね普通は)ホンマえらいこっちゃこれから世の中どうなんのや、と心配しているのは私だけでは、ですよ、いやそんなに気にせんでも、他所の国のことやと思ってる人も沢山おられるかな。

子供じみて攻撃的、都合が悪いと「もう一つの真実」なんて訳のわからん屁理屈並べて、彼のはアメリカファーストではなくトランプファースト、品の良くない不動産屋さん、なんてこちらも言いたい放題か。

で、就任前、就任後もいの一にすり寄って(いえ、飛行機で行かれたんですがね)我が美しい国の首相、彼に良いやつだと褒めてもらってご満悦、ゴルフもご一緒でご満悦、気が合ったとか心が通じたとか。

その彼も最近、「私の言う事が理解できないのならいくら議論しても仕方がない」、とか、強行採決なんて考えた事もないとか言いながらまさに強行の連発で。公約違反も「新しい



前列右から2人目、坂本さん

判断」で片付けて。でも支持率落ちませんね、批判してるのは少数で、国民、チョロイもんだとか、株価が上がれば景気も上がる、財政破綻なんて知ったこっちゃない、か。

でも僕たちにいやでも明日は来るし、夜も明けるし、きちんとダメは駄目と何処かで言わなきゃ。黙ってたらポピュリズムや教育勅語、ものが言えない世の中になりはしませんかね。

梅香り、桜待ちつつ花粉です、ファクション、負けへんで。のこの頃。

スイス・アルプス3大名峰と 氷河特急の旅

おかだ みのり
岡田 美乃利 (26期)

2016年8月14日～23日まで阪急交通社・スイス・アルプス3大名峰へ妻と旅しました。

これは私達夫婦が記念に残す簡単な紀行文です。

8月14日は朝8時集合なので関空日航ホテルに前泊です。

ツアー一行は10名、年齢は私達夫婦と同年齢です。ビジネスで12時間の飛行でフランクフルトへ、そこで乗り継いで約1時間でスイスのチューリッヒへ。関空を飛び立って間もなく眼下は青空の下、剣岳の雄々しい姿が。地元富山の山をこうして眺めるのは格別です。そうこうしているうちに多分、モンゴルの大平原でしょうが、モンゴルの飛行時間はかなり長く続きました。

スッキリした街～スイス

スイスの面積は九州とほぼ同じで人口は808万人(福岡県の人口510万人を除いた規模)

スイスに降り立った街並みの第一印象は、スッキリした街、ビルの高さの制限、ネオンや看板は禁止とのこと。牧草地や山の麓で雑草を見つけようと思っても見当たりません。この有

り余る山々の自然の美しさ、溢れんばかりの緑、気分は和みます。残念ながら私の故郷・立山もかなわないと思いました。

2日目～チューリッヒ

チューリッヒはスイス最大の都市で、標高408m、人口39万人です。チューリッヒの街の教会や大聖堂の見学です。街並みはすっきりしてとても気持ちが良いです。電柱はなく配電線は地下。世界最古（製造から約500年）のカラクリ時計、現在も毎朝、手巻きをしているそうです。

スイスの緯度はサハリンと同程度で日没は夜8時から徐々に暗くなり、日の出は午前8時頃で7時でもまだ暗い夜中です。

息も詰まる滝々～アルプス氷河

3日目、スイスの首都・ベルン、標高542m、13万人です。ベルン市内観光（バラ公園）等を見学後、貸し切りバスでラウターブルネンへ。ここは標高802m、人口2663人の町です。

アルプスの氷河が溶けた水が岩間の地中を削り、岩間に流れ込んでいる滝もあり、滝の総数はU字谷の村に72もあります。その中の一つ、トリュンメルバッハの滝を、岩間のエレベーターで上まで行き、10層ある滝壺を下へ歩行で降りながら眺めは最高でした。

岩間を怒涛のように轟音を響かせ、体のすぐ真横を流れ落ちる滝は凄まじいの一言です。

3日目の宿泊はグリーンデルワルト・標高1034m、人口3,826人の町です。



ラウターブルネンの滝

アイガー北壁の大パノラマ

4日目、アルプス3大名峰の一つ、ユングフラ

ウを目指し、登山列車での観光です。

ユングフラウヨッホ駅にある展望台（3,571m）からはアイガー北壁（3,970m）とアレッチ氷河の大パノラマです。

展望台で日本人の赤ちゃん連れの夫婦がおられ「どこから来たのです？」と訊ねると「日本人ですが、今、オーストリアに住んでいて、ここから来ました」とのこと。

赤ちゃんが可愛くて「抱っこしても良いですか？」「良いですよ」とのこと。私が抱っこすると赤ちゃん（多分1才～2才位）は泣き出し、赤ちゃんの父親が「本当のパパだよ」と言ったところ、益々、大声で泣き出しました。

しかしとても可愛いく温かいプレゼントで心が和みました。

展望台は真冬並みで吹雪、気温は氷点下2度です。ユングフラウはユネスコ世界遺産で富士山と友好都市だそうで展望台には日本の赤い丸型の一昔前の郵便ポストが富士市から寄贈されて、今も現役でそこに郵便物が投函されると届くということです。

アレッチ氷河はアルプス最大。長さは23,6km、幅は最大で2km、移動は年、180m～200mだそうです。

ここから山登りではなく、日本人で現地在住のガイドの案内で1時間30分の山下りで、緑一面の牧草地を眺めながらの山下りは爽快そのもの。展望台は真冬並みでしたが、2000mまで下ったのアイガーの眺望は青空の下、格別でした。

ホテルは、スイートルームで広さは約60㎡、部屋のベランダからはアイガーが眺望できて最高でした。女優のオードリー・ヘップバーンが定宿にしていたホテルだそうです。



ユングフラウヨッホ駅
へ向かう登山列車

地球にやさしい街づくり

5日目、グリンデルワルトを専用バスでツェルマット（1,608m、人口5,775人）へ出発です。ここには1833年建造のヨーロッパ最古の木造橋です。

氷河特急でアンデルマット（1,671m）からツェルマットへ。ファーストクラスの氷河特急でゆったりと車窓からの景色を楽しみました。グリーンがとてもすてきでした。

スイスはどこへ行っても草原や牧草地などには雑草が生えていないのが私は特徴だなと思いました。ガイドの方に聞くと低地では地主が手入れをやり、高地は国が維持管理しているそうです。

地球環境にもやさしく、牧場で水が少量の地域は、家庭排水を地下にプールし、浄化してスプリンクラーのように地上に散水し、緑化を維持しているとか。また、路面電車トロリーバスの運行は2～3分おきの運行で、車を利用しなくても生活できるようにということ。まるで動く歩道ではと思いました。これには感心です。

圧巻のマッターホルン

6日目、ツェルマットから、登山列車でゴルナーグラート（3,135m）の展望台へ、そこからのマッターホルン（4,478m）や4,000m級山々と大氷河の眺望は圧巻でした。約1時間30分の山下り、途中の湖面に映る逆さまッターホルン、気分は最高です。



マッターホルンをバックに岡田夫妻

ヨーロッパの最高峰、モンブランへ

7日目、ツェルマットから、アルプスの女王

といわれるモンブラン（4,810m）を望むシャモニーへ。途中レマン湖でクルーズやスイスワインの試飲も楽しめました。ワインは余り好みではないのですが、スイスのワインは口に合いました。

360度回転のロープウェイ

8日目、ロープウェイはシャモニーからの観光客が多いのでイタリアのクールマイヨールへ、そこからロープウェイで2,000mの標高差を移動です。第2のロープウェイでは15分間の搭乗中に360度1回転するロープウェイです。

夕食は自由です。他の人は揃ってイタリア料理へ行きましたが、私ら夫婦は日本人が経営するすき焼き店へ行きました。日本で食するすき焼きと、スイスでのすき焼きとどう違うかという思いです。お店は40席ほどありますがほぼ満員。長野県の方の経営です。野菜の品は日本と変わらずしかも盛り沢山、豆腐もあり、牛肉は沢山あって、残しました。

店員も日本人が多く、応対も親切・丁寧で気持ち良かったです。しかも味も格別で気分は最高でした。

他の観光地もそうですが、観光客は赤ちゃんなど子供連れなど老若男女を問わず賑やかです。しかし日本人はバカンスが無いので多分、年金生活者がほとんどでした。

生活しやすいスイス

スイスの消費税は日本と同じ8%、医療費も教育費も無料です。GDPは2012年ではOECD34カ国の中でスイスは第3位、日本は18位です。給与は日本のほぼ2倍とか。国連幸福度調査では1位で日本は46位（幸福度は自殺率、購買力、勤務時間、休暇などを考慮して計算）で何が国民の幸せなのかを考えさせられます。因みにバカンスは6週間です。上位はほとんどヨーロッパ、北欧で、4位に米国があるだけです。

帰国へ

9日目はいよいよ帰国の途につき、乗り継ぎを含め13時間余りで10日目の無事関空に戻ってきました。最近では国際テロが多発しており、飛行

機が関空に着陸した時は回りのお客さんから拍手がおきました。

旅行中、移動日の一日を除き、全て真っ青な晴天に恵まれ、改めて旅行中の天候に感謝しています。

喧騒な日本に戻ると溢れんばかりの緑のスイスへもう一度行ってみたい気分になり、日本に着いた途端、スイスの思い出にふけていました。



同期会・同好会だより

北野13期「歩こう会」例会

世話人 たにむら たかいち うねさ つねお
谷村 隆一、畝狭 恒雄

北野13期歩こう会 例会案内 平成29年度計画		注：弁当・水筒各自持参・体調自己管理									
月 日	120期	121期	122期	123期	124期	125期	126期	127期	128期	129期	130期
開催日	2月14日(火)	3月7日(火)	4月3日(月)	5月2日(火)	6月12日(月)	7月8日(土)	9月26日(火)	10月19日(火)	11月6日(月)	12月	
行き先	十三 第七藝術劇場	一乗館行 早瀬の 早瀬通り	千里万博記念公園	千原万博記念公園	1000の森のほりと 桜庭公園	茨川 桜庭公園 森林緑地の丘	矢田寺	神戸市立 森林緑地	大坂市立 新子福	阪神電車 新子福	天龍寺と 竹生院
コース	鶴岡屋敷 (八木フルーツ)	大阪-豊津-松崎-加茂-木津-原橋-天橋	千里万博記念公園内 散策	1000の森のほりと 桜庭公園	茨川 桜庭公園 森林緑地の丘	神戸市立 森林緑地	プロネタリウム・展示場	地下鉄肥後橋駅3号出口	阪神電車 新子福	天龍寺 散策	1年の反省会 次年度の計画検討会
集合場所 (改札前)	サンポートアイランド 第七芸術劇場前	JR大坂駅中央改札前 乗車券売場	モリレール 万博記念公園駅	JR高槻駅 中央改札口前	近鉄高槻駅 都山駅	JR三ノ宮駅 西改札前	地下鉄肥後橋駅3号出口	阪神電車 新子福	阪急山崎 改札前		
集合時間	午前11時10分	午前10時	午前10時	午前11時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	
担当	坂野誠子 0742-44-8695	畝狭恒雄 072-633-6198	谷村隆一 072-633-9661	畝狭恒雄 072-633-6198	坂野誠子 0742-44-8695	谷村隆一 072-633-9661	岡田和子 06-6623-5728	向井実尚 072-692-3865	畝狭恒雄 072-633-6198		
備考	料金を1100	入場料 ¥250		入場料 ¥500	入場料 ¥300	プロネタリウム ¥600 展示場 ¥400	1日乗り放題 ¥600	昼食 ¥300			

13期生の皆様の参加がお待ちしています。お希望参加日は各担当者へご連絡ください。



尊光寺境内(カイツカイブキの巨木の前)で 13期歩こう会(118回)例会 貝塚市寺内町散策 左端、谷村さん、右端、畝狭さん

北辰17期会の報告

第17期生は2年振りの同期会を平成28年10月19日から一泊2日の日程で、三重県鳥羽、リゾートホテル彩朝楽で行いました。

集まったメンバーは15名。宴会後の各人近況報告、歓談、翌日は船で遊覧など。天候にもめぐまれ、愉快的2日間を過ごしました。

歳相応に老いてきたわれわれですが、それでも趣味をもち、目標をもって暮らしている仲間たちの報告に感銘を受けました。

付記。次の同期会は来年2018年10月、日帰りで近江八幡を計画予定

馬場弘士記



中段左端馬場さん

笑顔がごちそう ～同期 岡田多聞 新北辰会会長をバックアップ～

みき じろう
三木 次郎 (18期)

昼間の最高気温が20.8度にもなって、サクラが起き出すような陽気の3月6日、18期同期会がおなじみの「こがんこ 十三東店」で開かれました。参加者は25人。場所も、顔ぶれも変わりなく、時間もいつもと同じ12時スタート。

最初に、物故者の冥福を祈って黙とうし、かしまった雰囲気の中で、北辰会会長を務める古城具祐君から「体調の都合で岡田多聞君にバトンタッチすることになりました」と会長交代の説明がありました。「正式に決まったら、



前列右から3人目、三木さん、後列右端岡田会長と左の古城前会長

ご協力をお願いします」という岡田君のあいさつに、一同「金はないけど、なんでも言うてや」と拍手でバックアップを約束しました。

「同窓会の会長、役員が一番の苦労は活動資金集めなんやで」との陰の声あり。

毎年参加者はほぼ定着、恒例になっている全員の近況報告は、もうええやないか、ということでカット。宴席のあちこちで、この1年の出来事から趣味のこと、孫のこと、病気のことなど身近な話題が尽きることなく続きます。

ウン千円で飲み放題、山海の珍味はないけれど、一番のごちそうは参加者の元気な笑顔と楽しい会話でした。最後に、恒例の校歌合唱。いつ聞いても胸を打つ歌詞に感動しながら、来年の再会を約してお開きとなりました。

北辰会20期生同窓会報告

幹事 ^{こだま} 児玉 ^{たかお} 隆夫 (20期)

日時：平成28年10月28日 12：00から15：00

場所：ホテルプラザ大阪

19階バンケットホールYODO

午後から雨という生憎の天気ではありましたが、定刻までに28名全員が集合し、最初に19階から地下1階に降りて集合写真を撮りました。この写真はホテルのサービスで帰るまでにプリントして全員に配付されます。

北辰会会長の挨拶を皆さんに紹介したのち佐野先生の音頭で乾杯、宴が始まりました。参加者の中には東は千葉、東京、神奈川から、西は

福岡からと遠いところからも駆けつけてくれました。久しぶりの集まりでもあり、また、同窓会に初参加という人もいて、道で出会っても気が付かなかっただろうと思われましたが、徐々に共通の思い出が蘇ってきて話が弾みました。

参加いただいた先生方のご挨拶の後、歓談の間に参加者全員から近況報告をしていただきました。体調不良や闘病のために出席できない仲間がいる一方で、地域の人たちに健康維持のための体操を指導している人、現役でフルマラソンに出ている人もいて、健康維持の大切さを改めて感じさせられました。

今後はたとえ少人数の集まりとなっても毎年開きましょうということにして散会しました。しかし、3時間でもまだ話足りなかったのか、1階で行った2次会には19人が参加、先生方とさらに3次会にまで行ったものもいました。



集合写真の中で前列左から2番目が野村茂夫先生、3番目が佐野哲郎先生、4番目が山本彰良先生です。3列目右端、児玉さん

21期生同期会が開催され、“思い出アルバム”が作成されました

やまもと こうじ
山本 宏二 (21期)

21期会の皆様へ

先日はご多忙のところ同期会にご参集下さりご足労さまでした。

30人前後位は出席して下さるのではと期待していましたが少し残念でしたが、荒木ご夫妻も参加して下さり、また欠席者より多くの多彩なコメントもいただき、宴会も盛り上がり無事終了しましたので、内心少し救われました。



後列右端:山本きん(アルバム作成者)、2人目:池川幹事
後列左から4人目:中村幹事、前列左から4人目:田井幹事



北辰記念碑前で

おそらく他の出席者の方も同じ思いではなかったかと推察します。

さて、苦しかった4年間、けれども懐かしく熱かった思いを忘れないためアルバムを作ってみました。粗雑な出来映えながら出席者と希望される欠席者に進呈することにしました。所要費用の方は頂いた会費、市井さんが管理してくれていた残存会費8,054円、井原君のカンパ5,000円で賄うことが出来ていますのでご懸念無用です。

送付しますので、人生の思い出アルバムの1ページに加えて頂ければ幸いです。

なお、幹事として至らない点があったとは思いますがご容赦下さい。

どうか、皆様も各自ご自愛のうえご健勝にお過ごしくださいますよう念じています。



*事務局より

近年、谷口さんを中心に北辰会幹事会へ結集があり、北辰21期会が立ち上げられました。

谷口さんの体調不良もあり、池川、中村、田井さんの北辰会幹事さん軸に小規模な21期会が続いておりました。残念ながら池川さんの体調不良もあり、全員への呼び掛けの21期会は最後にするという報告がありました。

しかし、幹事さんが無くなるわけではなく、それなりに実情にあった同期会は開催致したいと幹事さんは言っています。事務局も事務的なサポートは致します。今後も他の同期会からも学び、21期生はもとより他の北辰会会員に元氣を与える同期会を続けて頂けると期待しています。

23期中野クラス会 「ポンコツ会」開催

やまもと えつろう
山本 悦郎 (23期)

2016年11月27日～28日、有馬温泉の「ラコンテ有馬」で宿泊クラス会を開催しました。

中野先生ご夫妻をはじめ男性16人、女性7人(内夫人2人)合計23人の多数の参加で開催しました。

レストランで会食のあと、部屋に帰って懇談、近況報告など夜遅くまで過ごしました。

翌日は瑞光寺公園、神戸森林公園などの紅葉を見て、新開地で食事の後名残を惜しみながら、2年後の再会を約して解散しました。

ポンコツ会は1992年に再開して以来、2年おきに1泊しながら今回が13回目となりました。その間 多くの仲間が、病気 その他で亡くなり、寂しい思いをしましたが続けることが出来ました。

今では、全員が70歳を超える年となり 集まるのも色々大変ですが出来るだけ永く続けていけたらと思っています。



前列右より3人目 中野先生 2列目 右端山本さん

北野24期だより

さかもと しげお
坂本 成男 (24期)

北野24期だより	発行責任者 田辺聖晴	2016. 3月 吉日 彗 行
	編集者 坂本成男	Vol. ab 51

春の宴は湖畔の宿で

近江牛満喫 歌って騒いで水郷めぐり 51年目の新たな旅立ち いざ行かん

暖冬なのか爆弾低気圧の荒天か、変な天候続きですが、皆さんお元気でしょうか。
さて、昨年は50周年浜坂旅行、20名の参加で挙行致しました。まずまずの好天に恵まれ
楽しい2日間を過ごしました。参加された皆さん方の次回は来年との要望があり、今回は
春に琵琶湖畔の**休暇村近江八幡**一泊ツアーを計画しました。
夕食は美味しい近江牛に舌鼓、楽しい夜に。翌日は天候にもよりますが、水郷めぐりを
計画しています。近くに長命寺があり拝観も選択肢に。
日程等は下記のとおりです。奮ってのご参加お待ちしております。

日 時	2016年(平成28年)5月10~11日(火、水)		
行 先	休暇村 近江八幡 近江八幡市 沖島町 宮ヶ浜 (0748-32-3138)		
集 合	JR近江八幡駅 14時集合		
会 費	男性 18,500円	女性 16,500円	
参加切は4月10日と致します。			

参加申し込みは同封のハガキで願います(残念不参加者は近況をよろしく)
連絡は田辺 聖晴 TEL 078-882-2421 携帯 090-6060-8619

編集雑記

追伸ですが、参加人数により、迎えのバスがあるそうで、期待するところ大！
さて、私事です。拙宅昨日の朝ですがガス給湯が作動せず、冷水で洗顔、お湯の出る
生活の難さ身に沁みました。屋前には自然に治り暖かいお湯、修理費もいらず。
近頃、政権の中枢に心配事ですか、我が孤高?の挑戦を続けるチーム安倍カルテットの
一人に金銭疑惑、わが軍の副将のスキキャンダルにどう対処されるか、トカゲのしっぽ切り
でカタをつけるのか、はたまた特定秘密や安保法のような剛腕を発揮して、指揮権発動な
んで事はとんでもですよ。でも丁寧な説明は説明しない事でしたし、住民に寄り添うは突
き放す事でしたし、と思ってる私はヘンな奴なんではないか、でも夏の参議院選が心配。
皆さんの健康と充実した日々を祈りつつ。 2016/1/26 坂本成男

湖畔のいで湯と近江牛懐石大満足大満喫
～小雨の水郷めぐり風情アリ、八幡商人街散策～
身はつらい、宿に着くなりビールはどこに、
部屋割り温泉いい気分、所用で遅れられた山本
先生

御到着まずは一杯。宴会6時、さあ飲むぞ食
べるぞその前に記念撮影皆いい顔してね、はい
バター

山本、菊井両先生を中心に集った15名、幹事
長田辺さんの発声でカンパニー、総合司会は前
田さん

食事は噂の近江牛、ビールに焼酎
お酒にウイスキーストレートでね
次はあなたの番です3分以内で



前列左2人目より山本・菊井両先生
後列右端、坂本さん

まとめてね、酔っぱらいには無理な相談か
な、アツと言う間に4、5分

さて、時間も来ましたお後は部屋で積もる話
は語るも爆笑、聞くも大変

おなかが痛いよおビールはあるの
休暇村の夜は51年の時空を超え
弾ける笑顔とともに更け行くのでありまし
た。

おやすみなさい、また明日。

二日目は水郷めぐり、雨がかすかに降るかとい
う天気、でも滋賀県民の中村(旧姓則包さん)曰
く、雨も風情があっていいものよ、のとおり、
葦の中を行く屋形船、正調江州音頭も何か懐か
しく、とても楽しい一時間の船旅でした。

下船後、タクシーでお食事処へ、予約の定食
にアルコールも少し、皆さんホントお元気で、
ようやるワ。

食後1時半、地元のガイドさんの案内で八幡
堀と八幡商人の街並みを散策、3時ちょうど、
手荷物を預かって頂いていた昼食処到着、丁寧
なガイドさんに皆でお礼を言い近江八幡駅へ、
楽しい二日間を事故もなく、二日酔いもなく(ホ
ントです)全員元気よくそれぞれの自宅への帰途
についたのでした。

皆さん気を付けて、また来年元気でお会いで
きる事を祈って、さようなら。

編集雑記

梅雨はすぐそこ、暑い夏も必ずやって来ます
が皆さん達者で乗り切ってください、来年
はより多くの皆さんと再会できる事と確信して

います。でも、残念ながら訃報です、福山治美さんが5月9日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。合掌。福山さんには、闘病中にもかかわらず、今回の旅行に御厚志を頂いております。有難うございました。7月に福山さんを偲ぶ会の開催が計画されています。案内が御座いましたら、宜しくご参加お願いします。

北辰「25期会」 ～2年振りの開催～

世話人会 ^{まえだ}前田 ^{なおと}直人 (25期)

2016年6月12日 12時～15時30分 十三東「こがんこ」にて25名の参加で今回は遠方の福岡、神奈川、石川そして久しぶりの参加者があり、大いに盛り上がった同期会になりました。

25期会は基本的には毎年の開催、適宜の近況報告集の発行がなされています。

今回の近況報告集は12回発行になります。その編集は世話人会でメールのやり取りでしています。

カメラマンは会員さんをお願いしています。

また、運営資金は皆様から通信費を頂いています。

12回「近況報告集」は「北辰会HP」に掲載しています。ご覧になって下さい。



こがんこ十三東店にて

2016年 29期同期会 ～北海道・沖縄から、そして青木・山本両先生を 含め23名が集いました～

幹事 ^{むらかみ}村上 ^{ひろあき}博章 (29期)

4月15日（金）13時から京都伏見区の鳥せい本店にて開催しました。

恩師82歳の山本先生・在職当時24歳の青木先生にご臨席を頂き、遠くは北海道から並河ご夫妻、沖縄から梅田さんなど、総勢23名が集まりました。また当日不参加の33名の方からも仕事上の都合や体調不良、行事の重なりなど近況報告を添えて、次回はぜひ参加したいとのメッセージが寄せられました。



山本先生のほっこりとした挨拶に皆の表情が和らぐ

開催前には各自、思い思いに案内上で配布された歴史ある街並み（竜馬ゆかりの寺田屋や酒蔵）などを散策されての集合となりました。最初に松田さんの開会の挨拶から始まり、北辰会岡田会長、前田事務局長から「北辰29期会」へのお祝いとお礼の挨拶状の紹介。その後、林田さんの司会で全員の指名により北海道から参加の並河さんの音頭で乾杯。山本先生・青木先生のご挨拶を頂き、酒たれを使った絶品の鳥料理を食べながらの歓談となりました。

5年ぶりの顔、2013年総会後の同期会以降3年ぶりの顔々が揃い46年前の卒業アルバムを広げ恩師との楽しい語らい。先生方の生徒の顔と名前を覚えておられる記憶力の凄さにはつくづく感心致しました。

後半には参加者全員の自己紹介がありました。趣味でハーモニカ・オカリナ演奏の堀本（森川）慶子さん、守口市の観光・歴史マイスター取得の石賀（盛岡）栄子さんや沖縄で武道



北は北海道、南は沖縄から46年ぶりに担任と感激の再会！ 左端、青木先生

をされている梅田さん、孫のことや近親者の介護の話、まだまだ現役でご活躍の方々。そしてこの日のためにリハビリをして北海道からご参加の並河（三池）えつ子さん、ありがとうございました。話の途中で質問やツッコミ・ヤジ有りのそれは楽しい一時でした。最後に堀本慶子さんによるハーモニカ演奏で閉会となりました。

閉会后、鳥せい本店前で全員の記念撮影。カメラマンは誰が呼び出したのか？ 店員さん（忙しいのに）にご協力頂き有難うございました。その後、通行中の人や車の迷惑も気にせず別れを惜しんで約20分の立ち話。更に2・3次会へとパワー全開……。最後に改めて、心の若さは46年前と同じ力強さを感じました。



宇治、鳥せい前にて

秋の近江八幡と安土城跡と 伊吹山を散策 ～胸も目もお腹も満喫でした～

にはり けいこ
仁張 啓子 (26期)

2016年10月13日～14日、北辰会24期～26期の有志で、秋の”近江八幡”と”安土城跡”と”伊吹山”を散策しました。

初日は、朝ドラ「あさが来た」の撮影にも使われた八幡堀を散策。八幡堀は安土桃山時代に豊臣秀次が八幡山城を築いた際に城下町と琵琶湖を連結するために造った防御と水運を兼備えた堀で、人、物、情報を集め城下を大いに活気づけたらしい。昭和になり不要になった堀はドブ川のように荒れていたそうですが、今ではきれいに整備され、豪商たちの白壁土蔵や旧家が立ち並び保存されていました。

午後は、手漕ぎ和船の船上人となり、美味しいお弁当を頂きながらの水郷めぐりです。澄んだ青空の下、岸边にはコスモスが咲き、船頭さんのガイドを聴きながらゆったりとした時間を過ごしました。

安土城跡では、築城当時から残る壮大な石垣に触れ、石仏をも石段に使う信長の傲慢さに唾然とし、天下統一を思いながら眺めたであろう絶景を楽しみ、稀代の名将が建てた幻の名城跡を散策しました。

下山途中の「摠見寺」では、境内のイチョウが色づき銀杏が沢山落ちていたので少し拾って帰りました。

2日目はいよいよ伊吹山登山です。3合目から登る予定でしたが3合目までのゴンドラが廃止となっており、ドライブウェイで9合目まで行くお手軽登山となりました。この日も快晴。周りには伊吹山(1377m)より高い山が無いため山頂からの眺めはまさに「絶景」。何度も登ったという亀谷さんも「こんなに眺めが良いのは初めてや！」との声。東には名古屋や岐阜を望む



前列左より2人目、仁張さん

濃尾平野、西には日本一の湖「琵琶湖」と比良山、南には鈴鹿山脈、北には白山や乗鞍岳や御嶽山などの日本アルプスの山並み。風も無く、目の前に“360度のパノラマ”が広がりました。帰りには伊吹山麓の「伊吹薬草の里」で薬草湯を楽しんで家路につきました。

途上人KITANO 2016秋例会 「蒜山高原散策と下蒜山登山」 ～大山に冠雪、麓は紅葉～

世話人 かねだ よしはる おがわら きょうこ うめたに たけし
兼田 吉治、小河原京子、梅谷 武 (26期)

2016年11月10日(木)～11日(金)、途上人KITANO第21回例会「蒜山高原散策と下蒜山登山」を実施し、総勢18名で元気に楽しんで来ました。

初日は、AM7:30にJR大阪駅前集合し7:50出発。阪神・中国・米子自動車道路を經由して鳥取へ。車中では久しぶりの再会にお互いの近況報告を行いフラワーパーク“とっとり花回廊”へ。昼食の後、園内を散策。前日の寒波でこの時期としては珍しく大山に冠雪があり眺めが素晴らしい。

花の丘やフラワードームの蘭などを観賞した。その後、大山蒜山スカイラインを通過して車窓からカエデやブナ林の紅葉を眺め、途中の“鍵掛峠”展望所から大山を遠望して記念撮影。山頂は雪、麓は紅葉の素晴らしい景色を満喫して今日の宿である「ホテル蒜山ヒルズ」に16:30着。入浴の後宴会となる。

2日目は今例会の主目的である下蒜山(1100m)登山と蒜山高原散策です。散策は小河原さんと上村加代子さん。他の16名が登山に挑戦。AM8:00ホテルを出て登山口の犬狹峠(535m)を8:30に出発。最初はなだらかな登山道もすぐに急坂階段となり最初の30分は厳しい登り。鎖が付いた岩場もあり滑り易く難渋する。5合目からは森を抜けて大きく開け、景色が素晴らしいクマザサの稜線を進む。9合目を過ぎ山頂近くになると、再度驚くほどの急坂が現れハアハア言いながらやっと山頂を極めた。達成感の中、記念

撮影し下山開始。慎重に岩場を下山。予定通り12:30に全員無事犬狹峠に到着しました。

散策組はゆっくりと蒜山高原の紅葉を楽しみ、蒜山ホースパークで乗馬を楽しみました。

ホテル蒜山ヒルズで合流し、入浴後、生ビールで乾杯しBBQ昼食。15:00に帰路につきました。車中では例年通りカラオケを楽しみ、来年の行事内容を話し合い、19時に無事JR大阪駅で解散しました。

来年例会は2017年7月20日(木)～21日(金) 能登の宇羅さん宅農業訪問と能登ハイクに決まりました。



冠雪の大山をバックに

事務局からの報告

校長先生、教頭先生も参加の 2016年在阪北辰会拡大常任幹事会忘年会 ～喋る、食べる、飲むの賑やかな若い会～

12月9日(金)午後6時30分より十三東の「こがんこ」にて低価格の鍋料理を皆さんで和気あいあいとつきました。29期書道家竹本大鶴さんにも参加して頂き総数13名でした。

小河原副会長の進行で開会されました。

岡田会長の開会挨拶で学校関係者への参加のお礼と竹本大鶴さんの北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～への題字揮毫へのお礼と「北辰会HP」への充実への感謝がありました。



前列左より2人目、森田教頭、向畦地校長、最前列、小河原副会長

校長先生の挨拶と近況報告は2年目で大分様子が分かって自分なりに学校運営が出来つつあります。しかし、今年初めから体調管理で足の指を骨折するやら内蔵で問題を起こしました。今は回復して日曜日は「奈良マラソン大会」で42kmに挑戦すると意気込んでおられました。

森田教頭先生は半年、仕事に慣れるので精一杯で通勤も四条畷で時間がかかり余裕がなかった。

最近の北辰会文集を少し読ませて頂きましたが皆さんの北辰会への熱い思いがひしひしと伝わりました。暇があれば「ゴルフの打ちっぱなし」でストレスを発散させていると挨拶がありました。

兼田事務局次長から「北辰会HP」のアクセス状況の説明がありました。

北辰会HPへは少ない月で1497名、多い月で2028名の方々に閲覧して頂いています。

毎月行っている更新情報が、北辰会HPに関心を持って継続的に閲覧して頂いている要因だと思えます。今後とも、北辰会HP活動に向けて、北辰会々員皆様からの積極的な更新情報の提供をお願いの要請がありました。

食事をとりながら参加者全員が近況報告を致しました。皆さんそれぞれ体調などの問題を抱えながら一生懸命頑張っていると述べられました。

最後に水口会計監査の閉会挨拶、堀田常任幹事の先導で関西1本締め、井上常任幹事の校歌リードで全員の斉唱で2時間30分宴は北辰会拡大常任幹事会の繋がりや強さと明日への元気と仲間を思いやる気持ちがひしひしと伝わるものでした。来年の北辰会活動を暗示する楽しく、

元気の良い忘年会でした。

帰りには千葉市在住の22期前田進常任幹事さんからの「手作りワイン」が岡田会長就任祝いとして届けられました。

会長から皆さんにおみやげとするようにとの指示がありました。

皆さん、喜んで楽しく味わっていることでしょう。

*事務局より

忘年会の始まる前、20分間の在阪拡大常任幹事会を開催致しました。7月に2016年上期北辰会活動報告をしているので簡単に済ませました。

1. 人事補充、北辰会常任幹事に26期岡田美乃利さんの内定、正式には北辰会幹事会で決まります。
2. 簡単な会計報告
3. 簡単に「北辰会HP」、北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～の進捗状況の説明
4. 来年の活動日程の報告

北辰会会長 ご就任 おめでとうございます

北辰会会長 岡田 多間 様

平成28年9月23日
北辰会22期 常任幹事

まえだ すずむ
前田 進

拝啓

早いもので今年度も半分が終わろうとしています。岡田会長ほか北辰会の役員の方々お元気のことと思います。

大変ご挨拶が遅れてしまいましたが、第6代「北辰会会長」ご就任おめでとうございます。どうぞ、よろしくお願い致します。

1941年に発足した北辰会は活躍を重ねて76年を刻み、岡田新会長は川野4代、古城5代会長期を黄金期・果実期と例えられていますが、閉過程後10年を過ぎたこれからは思い出を楽しみ、若い人達を育て、活動を継続させようと言

う意欲が感じられます。

まずは、2018年春の総会を成功させ、北辰Vの発行を喜びたいものです。

東京北辰会は今、停滞気味です。佐々木幸政氏（12期）を亡くし、高齢化が進むに連れコミュニケーションの難しさを感じています。

ところで、一転話題を変えます。

私は定年後のライフワークとして、ブドウ作り・ワイン造りを楽しんでおります。健康の維持にもなればと思い、畑仕事に汗を流しています。

手作りワインをプレゼントさせていただきますので、良かったらご賞味下さい。

1. 小豆色のコルクキャップボトルは2012（～11）年仏製樽熟成ワインです。
2. 紫色のネジ式ボトル（簡易に開栓可能）は2015年の新しいワインです。2本同時に味わえばその違いを確かめることが出来ます。

おわりに、健康と安全に勝るものなし、御身大切にしてお過ごし下さい。

敬具

岡田北辰会会長就任祝いの ブドウ酒届く ～千葉在住、前田進北辰会常任幹事さんより～

北辰会事務局

上記のように12本のブドウ酒が岡田会長のもとに届きました。

会長は12月の拡大北辰会常任幹事会の忘年会でのお土産として皆様にお分けし、前田進さんの好意を分かち合いたいとの指示がありました。

当日の参加者は思わぬお土産に喜んでいました。

会長からは2018年北辰会総会、懇親会の乾杯用に使いたいなあ～との感想を述べられました。

そのほかにも感想2件をご紹介します。

1 件目、最初の1口目はフルボディの強い葡

萄の薫りを感じましたが、飲み進むうちに、メルローのような甘さの薫りでなく、深い香りの何とも表現のしようのない美味しいすっきり感を感じました。

これが山葡萄を使ったワインの深い味わいなのでしょうか。

初めて味わいましたが、くせになりそうです。

2件目、香りが良い。少し渋みがあり酒好きの者にはとても好みの味と思う。

などの感想が寄せられました。



キリマンジャロ登頂の前田さん

恩師、先輩諸氏のご遺族様より 賛助金が届きました

恩師 遠山勇 奥様孝子様、

1期 初代会長酒井芳政 お嬢様渡辺佐知子様、

6期 山下重雄様 奥様喜久枝様、

12期 佐々木幸政様 奥様栄子様

遠山勇先生（孝子様）は昭和41年（1966年）に赴任され29期生担任と理科を担当され平成2年（1990年）まで34年もお世話になりました。

1期初代会長酒井様、お嬢様渡辺佐知子様 6期山下喜久枝様からは前回も多額の賛助金を頂いています。12期 佐々木幸政様（奥様栄子様）より。

これらの方々には北辰会、事務局、東京北辰会活動全身全霊を込めておられました。北辰会が大変お世話になったの方々です。

中垣、楠野両校長先生はじめ9名の恩師から多額の賛助金を頂いています。何時も気を使って頂き有難うございました。

ご芳名は別ページ賛助者名簿をご覧下さい。

先輩と若い会員からの便り

奥村 幸雄 (7期)

拝啓 お便り嬉しく拝見しました。ありがとうございます。この4月で90歳になります。やや軽い難聴ですが足腰も大丈夫で水、土曜日を除き介護施設で送迎も受け昼食サービスを受けています。長女が高校の国語教師をしていて老後の趣味として漢字の勉強を勧めてくれたのでこの10年程は漢字テスト対策の豆本で時間を潰しています。そんなに頭を使わないで・・・電子辞書を買ってくれたので1日2～3時間はこれに費やしています。皆様のご健勝を願っています。

窪田行徳 (50期) 幹事さんから 賛助金の振り込みと連絡

(数回のメールをまとめ編集致しました)

ガン後遺症で入院致します。申し訳ございませんが幹事会には参加出来ません。北辰会の皆様に宜しくお伝え下さい。元気になったら北辰会へは少しずつ賛助金送り応援致します。

私は定時制で学ばなければどんな生活を送ったか分かりません。苦勞知らずに生きていたらどうしても心が悪くなると思います。北辰会の皆様に感謝しています。

今は退院し父母と生活しています。安心して下さい。振り込み出来ました。

*事務局

数年前、窪田さんは北辰会では若い幹事さんです。彼から事務局へ連絡がありました。看板など製作する仕事に就いていました。事業も上手くいかず、体調不良も重なり苦しい生活でしたが北辰会総会、幹事会参加し皆様と話し合えるのを楽しみにしていました。その中での賛助金です。胸が熱くなりました。一日も早く回復しお会い出来ることを楽しみにしています。(2017.2.27)

恩師の訃報 (敬称略)

お悔やみ申し上げます。

2014 田村和盛、2014.5 居安正、
2014.11 川副昭人、2015.3 多田誠、
2016.5 樺島忠夫、2016.7 中田耕作、

2017年幹事会報告

一. 人事 (敬称略)

1. 役員の異動

辞任 副会長 14期 松尾善孝 体調不良
新任 常任幹事 26期 岡田美乃利
26期幹事、事務局企画担当は兼任

2. 幹事の異動 (報告案件)

辞任 22期 大槻征功
23期 山本悦郎
33期 久保真澄
新任 23期 畑地 豊、西坂一裕、
堂本敦子、倉田淳子
27期 竹口良太郎
33期 滝野 保、滝野ひとみ、
西田由子

3. 学校人事

転出 教頭 寺尾光弘 府立枚方津田高等
学校校長へ
新任 教頭 森田里江子 府立寝屋川高等
学校教頭から

二. 会計報告 (別項 会計収支報告書を参照してください)

- 2016年繰越金は386万円です。その内賛助金は文集予約を含め226万頂きました。
- 支出合計額は107万円です。主な支出は会報22号発行。幹事会開催費用。事務所維持費。印刷機のトナーなどでした。
- 2018年総会終了後会計の見通しについて
2017・2018年活動費200万。北宸V作成費100万円。2018年総会費用は前回では7,000円会費で7万円の黒字でした。総会終了後の残金は300万円を予定しています。内訳は2017年残金100万と総会時に予定している賛助金約200万です。
- 会報を発行して会を維持する最低の年間活動資金は100万円が必要です。

三. 賛助金運動について

- 422名の方から227万円頂きました。北宸Vの予約受付は197冊です。目標額の200万超えました。有難うございました。目標額を少し低く設定したようです。

振込依頼数1842名中416名で22.9%の会員皆さんのご支援を頂いたこととなります。これは大きく重い数字と理解しています。

- 2014年総会時は502名240万円。
- 先生からは校長先生2名を含め9名から6.6万円頂きました。
- これら北辰会を支える力は先輩諸氏の体力の衰えなどもあります。北辰会が私達のオアシスの存在であることを示しています。
- 期別集計の傾向について

2016賛助金運動期別集計の傾向

	0期から10期	11期から16期	17期から30期	30期から67期	合計
会報22号送付数	224	387	1160	72	1842
割合/1842(%)	12	21	63	4	
賛助数	24	90	279	18	410
割合/410(%)	6	22	68	4	
賛助金	156,000	450,000	1,561,000	89,000	2,256,000
割合(%)	7	20	73	4	

- 0期から10期までは先生方の賛助が多くありました。それ以降は会報送付数に応じた賛助がありました。同期会開催が無くなった11期から16期まで落ち込むかと思いましたがそれ相応の振込がありました。自然に名簿登録者が減ると賛助金運動も厳しくなります。
- 次回の賛助金運動は2018年総会時になります。今後、2年間で北辰会の力量が今回よりも1割低下は覚悟しないとイケません。11期生から16期生の皆様の低下が考えられます。同期会がなくなっています。
- 北辰会が会員皆様のオアシスで存在出来るような事業を企画立案しなければならないと思います。

四. 「北辰会HP」の報告

- 2016年3月幹事会での報告以降も順調に更新が出来ています。
- 2016年1月以降の閲覧状況

閲覧月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
閲覧者数	1839	1800	1869	2028	1838	1807
閲覧月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
閲覧者数	1612	1497	1549	1751	1732	1588

- ①2016年も毎月1500~2000人の方々がアクセスされ、閲覧して頂いています。

2015年の閲覧状況を維持しています。

- ②2015年と2016年の2年間の閲覧状況の推移は2015年10月から12月までの伸びは2016年7月以降多少減少傾向にあります。リピーターの皆さんにマンネリ化が出てきたのでしょうか?
- ③主として北辰会会員皆様が閲覧して頂けたら宜しいのですがこれは把握出来ていません。
3. 「北辰会HP」への掲載状況
 - ①2016年1月以降、会員皆様からの投稿記事、写真など46本(2015年は年間34本)を掲載させて頂きました。
 - ②事務局からも北辰会活動報告を多数掲載いたしました。同期会の状況も情報が届き次第掲載しています。
 - ③「北辰会HP」を見れる会員の皆様は週1回の閲覧をして頂きたいと思います。
 - ④会員皆様の投稿をお待ちしています。

五. 同期会について

13期「歩こう会」は7回、通算118回を数え継続しています。17期は2年振りで15名が鳥羽で1泊。18期会は毎年2月頃開催しています。今年も25名の参加でした。19期会も南部会として10月エスカイヤホテルで18名の参加。開催しています。期全体に広げる努力をしています。20期は10月プラザオーサカにて、佐野、山本彰良、野村3先生を含む28名。

21期は10月十三がんこ本店にて18名で開催しアルバム作成致しました。同期会とは別に幹事さん中心に小グループの懇親会が開催されています。23期は11月中野先生御夫妻も参加され、23名が有馬温泉で1泊のクラス会「ポンコツ会」を隔年開催しました。24期は5月、山本、菊井先生を含む15名が近江八幡へ宿泊同期会。25期は6月十三東「こがんこ」で25名。29期は4月、青木、山本先生を含む23名が宇治へ。

途上人KITANOのグループも蒜山高原散策と下蒜山登山、金剛山雪中登山、忘年会が開かれました。

六. 北宸Vの表紙、タイトルについて

1. 北宸V、タイトルについて

- イ. 冊子表題は「ほたるに雪に」とする。
- ロ. 北宸Ⅲ、北宸Ⅳ、ともに校歌の一番、二番から採っており、校歌三番から採る。
2. 北宸Ⅴ、サブタイトルについて
冊子副表題は「久遠の真理 想うかな 高き
矜持に 身をゆだね」とする。
3. 表紙カバーデザインについて
4. 「北辰会HP」にこれらのデザインをカラーで掲載致しています。ご覧ください。



竹本大鶴さん(29期) 揮毫

七. 母校との懇親会

森田里江子教頭先生への5月、会長以下で表

敬訪問致しました。

12月、校長先生、教頭先生を含む在阪常任幹事会の忘年会を和やかに開きました。

八. 今後の活動

1. 2018年北辰会総会の準備
2. 同期会開催へ援助致します。
3. 「北辰会HP」の活用を強める。多くの会員皆様に勧めて下さい。
幹事さんで「北辰会HP」を見る事ができる方は月2回位閲覧して下さい。
4. 2017年中に「北宸Ⅴ」の原稿校正段階まで進めます。
5. 幹事さん不在、同期会開催不能の先輩期への「声の便り」で状況と住所確認作業を致します。
1期～15期 300名
6. 会員皆様の異動が有れば直ぐに事務局へ連絡下さい。
7. 北辰会報24号の発行

2016年賛助金運動目標達成のお礼

北辰会会長 岡田 多聞
北辰会事務局長 前田 直人

トランプ大統領の誕生、東電原発問題、豊洲市場問題など、国際的にも国内に於いても難題が山積しています。

皆様には日頃から北辰会活動にご理解とご援助を頂いております。厚く御礼申し上げます。

お陰様で今回の賛助金運動では422名の多くの方から総額231万8500円のご支援を頂くことが出来ました。北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～には197冊の予約を頂きました。

これは目標額の200万円を超えています。これで2年間の北辰会活動、2018年総会開催、北辰会文集、「北辰V」～ほたるに雪に～発行などの北辰会活動資金が出来ました。これも北辰会活動が私達会員の原動力となり明日への元気なエネルギーの源だと認知されている事だと思っています。

振込み時の通信では、皆様が体調不良の中でも目標を持ちお元気で過ごされているとの便りが数多く届いています。本当に嬉しく思っています。

これは会長として大きな責務を果たせた思いでもあります。改めまして皆様の暖かいご支援に感謝申し上げますと共に北辰会活動への元気を頂きました。役員一同「北辰会」を明るく楽しく存続出来るよう頑張ります。有難うございました。感謝を込め賛助金を頂いた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

編集後記

恩師や先輩諸氏の訃報が多く届くようになっていきます。来年は総会が開催されます。この様な中でも、岡田会長を始め役員は北辰会を元気に存続させ、会員皆様心のよりどころとなるよう頑張っています。

北辰会報は「北辰会HP」と共に北辰会の皆様のかけはしとなり、皆様に元気、勇気、希望を届けられるよう頑張ります。皆様の投稿を待っています。

事務局一同

賛助者のご芳名 (敬称略)

期	氏名	旧姓
恩師	水原 渭江	
恩師	菊井 忠雄	
恩師	山田 信也	
恩師	遠山 孝子	(勇)
恩師	中垣 芳隆	
恩師	木戸 亮	
恩師	楠野 宣孝	
4	杉山 敏雄	
4	田村 政春	
6	池原 平和	
6	居安 正	
6	須田幸二郎	
6	田中 稔	
6	山下喜久枝	(重雄)
6	安藤 謙	山中哲夫
6	山本 俊夫	
7	石渡 照雄	
7	河野 正	
8	井上 馨	
8	矢田 文蔵	
9	中島 豊児	
9	盛野 胤弘	
10	中西 祐和	
11	浅野 勲	
11	金行 陽三	
11	北村 方志	
11	竹中 和郎	
11	達富 脩	
11	檜林 基成	
11	牧野 雄次	
11	松本 新一	
11	濱田 光三	山田
12	石丸 陽一	
12	市井 健三	
12	大西 俊彰	
12	小越 信朋	
12	竹内 明子	亀沢
12	亀山 敏子	三原
12	佐々木栄子	幸政
12	紫竹 史郎	
12	新保 誠敏	
12	津田 叅次	
12	西田 千恵	
12	幡 信昭	
12	堀口 隆志	
12	前 喜代志	
12	松永 安哉	
12	丸山 利信	
13	赤嶺 茂	
13	伊藤 裕康	
13	畝狭 恒雄	
13	大石 勲	
13	岡村 昇	
13	浅田 義晴	奥
13	竹尾 鼎子	川北

期	氏名	旧姓
13	北田 喜國	
13	岡田 和子	木村
13	佐藤 知子	倉田
13	坂野光俊・誠子	
13	佐藤 勉	
13	汐月 二郎	
13	鷹取 偉仁	
13	谷口 源一	
13	谷村 隆一	
13	藤原 良一	
13	前田 利明	
13	松本 悟	
13	橋本 榮子	森井
13	田阪 洋子	渡口
14	美馬 綾子	安藤
14	池谷 弘	
14	板野 貞雄	
14	氏原 修	
14	岡山伊久雄	
14	金森郁三(春子)	
14	川野眞次郎	
14	神波 正明	
14	近藤 敏雄	
14	坂井 稔	
14	氏原 幸子	島田
14	小林 妙子	滝川
14	川原千恵子	田中
14	渡辺佳代子	谷口
14	田辺 章子	富島
14	永井 正昭	
14	五熊 久子	浜名
14	本庄 孝行	
14	山野 純栄	森本
14	岡本 文子	志水
15	小林 民子	東
15	伊豆野行美	
15	川竹 博子	
15	三上 則子	越村
15	清水 昭	
15	田中 寛	
15	戸崎 健一	
15	岡崎美恵子	中西
15	中澤 佐代	
15	服部 哲夫	
15	藤 博	
15	松村 汎	
15	水野 弘子	
15	峰松 茂樹	
15	長滝 才子	三次
16	伊勢田善弘	
16	稲見 精久	
16	内木 雅夫	
16	菊地 博司	
16	四方 寛規	
16	柴田 博三	

期	氏名	旧姓
16	住友 幸子	
16	曾我 乙彦	
16	花岡 正一	長尾
16	馬場 昭雄	
16	福井 誠一	
16	松井 永介	
17	浅見 郁蔵	
17	稲継 秀夫	
17	岩田 一栄	川手
17	佐竹 節寛	
17	清水 正文	
17	田中 克房	
17	田中 希夫	
17	田村 雅美	
17	中野 勝也	
17	馬場 弘士	
17	福井 栄	
17	水口 健三	
17	入口ユキ子	宮田
17	吉村 幸雄	
18	足立 公夫	
18	足立 武司	
18	荒木 一禎	
18	岩崎 洋治	
18	植田 佳文	
18	杉並 正恵	江沢
18	岡田 多聞	
18	奥里 将春	
18	忍田 健蔵	
18	北村 暢夫	
18	木村 哲郎	
18	森本 礼子	久保
18	小柳 一義	
18	古城 具祐	
18	佐藤 寅夫	
18	桜井 善子	
18	矢谷 弘子	
18	篠木 武子	
18	清水 庄司	
18	杉並 孝二	
18	井上紀代子	田島
18	出口 久三	
18	西田三千子	戸田
18	中島芙美子	
18	中村 明人	
18	西野 有	
18	服部 之男	
18	三木 次郎	
18	伊藤 俱子	樫野
18	森本 均	
18	森本 益之	
18	山下 勝美	
18	吉形 安生	
18	横田 隆司	
18	吉村 務	

期	氏名	旧姓
19	杉山 嘉夫	上山
19	鍵山伊三雄	
19	梶原 清	
19	酒井熹世子	岸上
19	谷山十三夫	
19	鳥生 静夫	
19	内田 三郎	中西
19	佐藤 万幸	播岡
19	平子 浩一	
19	黄山 平一	黄
19	松井 孝次	
19	水谷 正治	
19	山本 美德	
20	井口 忠勇	
20	磯田 久子	岩本
20	宇野 京子	
20	大泉 末夫	
20	大賀 隆	
20	角石 国道	
20	勝部 進	
20	金倉 郁雄	
20	北山 紀一	
20	森本 礼子	楠本
20	児玉 隆夫	
20	小林 利夫	
20	伊藤 淳子	田島
20	中本 忠彦	
20	森川 勝治	難波
20	濱野 敏彦	
20	日下山隆利	
20	松原 芳三	
20	上辻 昇子	宮島
20	山下 貞一	
21	荒木不二夫	
21	池川 修治	
21	荒木 茂子	石田
21	市井 吉栄	
21	前田 信子	小林
21	田井美佐子	杉山
21	谷口 喬司	
21	秋永 孝子	玉祖
21	寺内 孝	
21	名子 妙幸	名子幸枝
21	中村 公俊	
21	北川 圭子	東野
21	萬戸 唯利	
21	大串 静子	矢野
21	山上 恵三	
21	山本 宏二	
21	山本 英郎	
22	上野 郁夫	
22	房本 光代	牛島
22	大槻 征功	
22	大野木勝昭	
22	和 文博	大場
22	菊本 祥子	栢
22	菊本 隆	

期	氏名	旧姓
22	桑島 明子	
22	山本優美子	高島
22	中村 文子	
22	前田 進	
23	石田 孝一	
23	伊藤 実基	
23	金城 奉周	
23	貴船美佐子	川崎
23	綿谷 幸栄	熊白
23	山下 直子	竹内
23	鶴田 郁夫	
23	中家 詩郎	
23	西阪 一裕	
23	白石 幸子	曳原
23	吉田 雅江	又川
23	田中 悦子	村瀬
23	山本 悦郎	
23	綿谷 修	
24	播岡芙美子	赤川
24	岩崎 靖子	石田
24	今本 潔	
24	掛本 洋之	
24	亀谷 典康	
24	前田 泰子	熊白
24	坂本 成男	
24	八田 恵子	笹野
24	田辺 聖晴	勝
24	徳永 義彦	
24	中西 三男	
24	中村千代美	則包
24	福山 治美	
24	又川 邦義	
24	日暮 ミキ子	松山
24	三木 嘉子	
24	伏見美知子	湊
24	遠藤 圭子	三宅
24	山下 文誉	
24	山西 清芳	
24	吉澤 靖昌	
25	藤本 恒子	青木
25	清水 初美	飯田
25	堀江 紀子	池田
25	板脇 百合男	
25	宇治靖之・みどり	
25	内田 裕康	
25	片田 明	
25	河崎 正清	
25	河野 昭子	
25	富川久美子	小林
25	佐々木 亮	
25	斎藤 陽子	柴田
25	白石 政利	
25	高崎 正美	
25	高田 保	
25	岡崎 和子	橋
25	前田 和子	谷垣内
25	西村喜美江	玉置

期	氏名	旧姓
25	辻井 治	
25	中村 謙一	
25	西田 隆助	
25	西谷 和美	
25	吉良サツキ	畠中
25	原田 善造	
25	福原 直治	
25	中村ひろみ	前島
25	前田 直人	
25	前田 正雄	
25	加藤 静子	松岡
25	宮脇 茂之	
25	森 泰造	
25	安川勢津子	山下
25	山城 親秀	
25	矢島 優子	山本
25	吉岡 伸二	
25	吉村 太	
25	上地利恵子	与那嶺
25	野田 豊子	米田
25	渡部 克彦	
26	井口 勝治	
26	猪之良 登	
26	角山千賀子	石田
26	宇羅 恒雄	
26	梅谷 武	
26	上村はるら	上田
26	上村加代子	
26	大内 清	
26	岡田美乃利	
26	西田 成子	沖津
26	兼田 吉治	
26	栗本 俊彦	
26	桑名 耕治	
26	小谷 健蔵	
26	小河原京子	坂本
26	赤岩 正子	柴田
26	勢井 正一	
26	田中 三男	
26	仁張 啓子	竹内
26	辻井 説三	
26	中島 賢治	
26	直嶋 正行	
26	三木千代子	中
26	根岸 良吉	
26	半田自朗・フサ子	
26	馬場 健一	
26	藤原 政枝	東山
26	井口 伴子	平井
26	古本 永男	
26	福原 毅	
26	松本 重徳	
26	三代 信子	
26	松本 和子	吉本
26	吉永 満輝	
27	安達 清治	
27	後藤 和代	足立

期	氏名	旧姓
27	上村 廣子	池本
27	小竹 絹代	井上
27	植田 盛保	
27	岡本 和幸	
27	川端 康巴	
27	杉原 文代	北村
27	城内 豊和	
27	岩井美智代	新川
27	田中 久子	
27	寺下 紀男	
27	中村 勇	
27	羽柿 美代子	馬場
27	福山 進	
27	山崎ちずよ	古本
27	渡部 孝彦	
27	才村 光世	正清
28	竹本 久子	五十嵐
28	宇良 浩	
28	香川 和夫	
28	井上 啓子	加藤
28	神野 一信	
28	宮崎 光子	波多野
28	李 利江	松岡
28	藤林 房子	山本
29	江端 和子	青谷
29	天岡 久男	
29	天野 彰	
29	岩下由美子	

期	氏名	旧姓
29	植村 勝男	
29	梅田 正義	
29	甲斐 和市	
29	山下 恵子	川崎
29	林田 定子	河野
29	山片美和子	岸田
29	馬場田保子	木村
29	竹本 治男	酒井
29	竹本 重市	
29	平沼 富子	竹中
29	並河賢一郎	
29	松田 静代	浜屋
29	岡野 泰子	林
29	林田富士夫	
29	福田 幸次	
29	前田 哲男	
29	松田 秀樹	
29	松比良通義	
29	並河えつ子	三池
29	村上 博章	
29	石賀 栄子	盛岡
29	森山 博	
29	山田 道雄	
30	赤松小百合	喜井
30	板橋 敬三	
30	伊東 信之	
30	水澤由美子	馬野
30	赤松 芳夫	

期	氏名	旧姓
30	木村 育司	
30	早川富美子	沢村
30	谷垣雅春・春美	
30	岡田 敏子	成相
30	塗家 栄子	
30	山口 富子	堀北
30	堀田 征和	
30	村山タツエ	松原
30	吉原 敏男	
32	沖 秀恵	
32	藤村 由喜	西川
33	山下伊津子	井口
33	紀川真知子	唐田
33	久保 真澄	
33	鳥田 博	
33	松村 喜美	
33	中田 由美	宮島
33	北原 郁子	山田
34	兼平 清志	
34	上村 典子	松永
35	高橋 久子	坂本
36	森本 俊彦	
37	小村 秋代	
37	西村 稔	
43	竹之内 キクエ	
50	窪田 行徳	
61	豆谷 喜代治	
62	伊藤 正三	

2016賛助運動期別集計表

期	賛助者数	北宸V予約数	合計額
恩師集計	9	4	66,000
4集計	2	1	7,000
6集計	7	3	46,000
7集計	2	1	8,000
8集計	2	0	8,000
9集計	2	0	20,000
10集計	1	1	4,000
11集計	9	6	75,000
12集計	16	8	86,000
13集計	21	9	86,000
14集計	19	7	81,000
15集計	15	8	65,000
16集計	12	6	61,000
17集計	14	6	73,000
18集計	35	12	278,000
19集計	13	9	101,000
20集計	20	8	102,000
21集計	17	8	118,000
22集計	11	2	46,000
23集計	14	5	66,000

期	賛助者数	北宸V予約数	合計額
24集計	21	9	100,500
25集計	39	14	166,000
26集計	34	22	205,000
27集計	18	9	79,000
28集計	8	4	42,000
29集計	10	5	40,000
14集計	1	0	10,000
29集計	17	12	96,000
30集計	14	5	76,000
32集計	2	2	14,000
33集計	7	4	34,000
34集計	2	1	7,000
35集計	1	1	4,000
36集計	1	1	4,000
37集計	2	0	15,000
43集計	1	1	4,000
50集計	1	0	3,000
61集計	1	0	3,000
62集計	1	1	7,000
	422	195	2,306,500